



名古屋東海ワイズメンズクラブ

会長主題 「ワンチーム」

国際会長主題	「世界とともにワイズメン」	キム サンチェ (韓国)
アジア太平洋地域会長主題	「100年を超えて変革しよう」	大野 勉 (神戸ポート)
西日本区理事主題	「未来への挑戦」	新山 兼司 (京都トップス)
中部部長主題	「楽しくやろう ワイズの活動 地域とYMCAと共に」	渡辺 真悟 (名古屋)

名古屋東海クラブ標語 『限りなき熱情を奉仕に』

今月の聖句

愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。怠らず励み、霊に燃えて、主に仕えなさい。希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

(ローマの信徒への手紙 12章 9節～12節)

強調月間

2月例会等ご案内

◎ 2月第1例会

新型コロナオミクロン株感染拡大に伴い、愛知県下に「まん延防止等重点措置」が発出されたため、第1例会は中止と致します。

◎ 2月第2例会

日程：2022年2月17日(木) 19:00～
会場：名古屋YMCA

ワイズ EMC・YYY フォーラム

デイキャンプ交流会

日時：2022年4月23日(土)
午前10時30分～午後3時頃
場所：戸田川緑地公園こどもキャンプ場
参加費：1,000円(大人のみ)

お年玉切手シート当選番号

20・50・54

当選した年賀状はお年玉切手シートに変えて、CS担当の長谷川君までお持ち下さい。

東海ワイズ五つの信条

- 一. 自分を愛するように隣人を愛そう
- 二. 青少年のためにYMCAにつくそう
- 三. 世界的視野を持って国際親善を図ろう
- 四. 義務を果たしてこそ 権利が生じることを悟ろう
- 五. 会合には出席第一 社会には奉仕第一を旨としよう

【出席率】 1月末一在籍者 19名
(内広義会員 2名)
出席者 14名 (Make up 1名)
出席率 82.4%

【特別ファンド】
1月ファンド 13,360円
現在保有額 1,662,900円

1月第1例会報告

ご清聴に感謝！ 1.13 例会スピーチ

鈴木 一弘

久々のワイズソングに聴き入り、東海クラブ5つの信条の唱和に胸が高鳴る思いをしました。2022年度の最初の例会に、招いていただき、改めて感謝申し上げます。

今回の卓話は、YMCA学院高校（大阪市天王寺区）で実施している「高校生のためのYMCA理解」の授業を、ワイズメン対象にアレンジしたものです。クイズ形式で、「YMCAの発祥の国と時代」「ノーベル平和賞受賞者と有名人」「国際連合のメンバーか」「Y.M.C.A.の歌のルーツ」などを共に考えてみました。

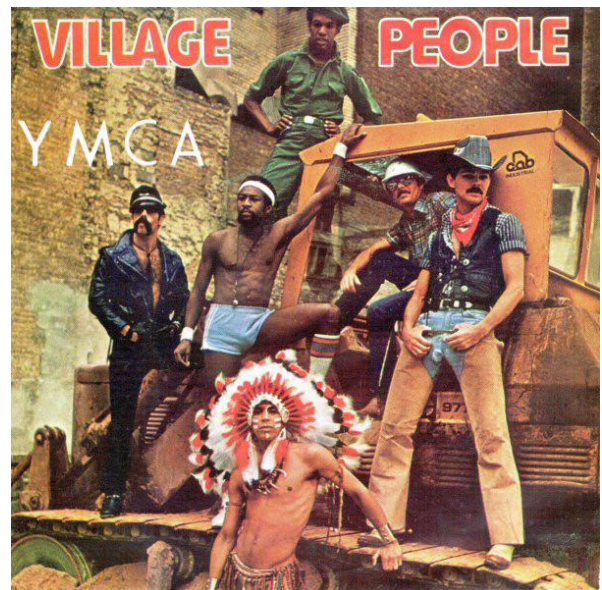


少々レビューと補足をする、ノーベル平和賞受賞者が、アンリ・デュナン(1901年)とジョン・R・モットー(1946年)です。また、有名人として、中村哲(九州大学YMCA)、内村鑑三(北海道大学YMCA)、城山三郎、大平正芳(一橋大学YMCA)が、芸能関係では、木村拓哉(千葉YMCA)、藤原紀香(神戸YMCA)、岡田有希子(名古屋YMCA)などを挙げました。



名古屋YMCA関係では森本レオの名前も補足していただきました。その他に紹介し忘れましたが、『武士道』を著し、国際連盟事務次長の新渡戸稲造も、YMCAのメンバーでした。

また、国際連合の経済社会理事会には、世界YMCA同盟がオブザーバー出席をしていること、西条秀樹の「ヤングマン」も明るくて良い曲ですが、元歌の“Y.M.C.A.”の方が、実は、青年の持っ心と現状を深く語っているメッセージソングなのではないか、との話をしました。



少々先ですが、YMCA設立200年に当たる2042年には、ノーベル平和賞をYMCAが受賞し、関連団体としてワイズメンズクラブも誇れるのでは、との私個人の「夢」も語りました。

末尾になりますが、2000年代半ばに、名古屋インターアクトクラブメンバーとして、またチャリソンラブキャンプリーダーとして、長谷川メンや浅野メンにもお世話になった「じゅん」が享年33歳で、胃がんで天に召されたことも報告させていただきました。

これからも機会を作って、例会には出席したく思います。宜しくお願い申し上げます。

【出席者】浅野、大島、太田、柴田、谷口、中江、橋爪、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾、鈴木一弘

名古屋周辺は歴史的名所の宝庫！

中江 正典

名古屋に転勤になって早いもので8年になります。名古屋の赴任は初めてだったので、楽しみにしていたことがありました。それはお城巡りです。日本には4~5万ものお城がありますが、愛知県は、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の「三英傑」を始め、個性豊かな武将たちを輩出した「武将のふるさと」で、戦国時代には数多くのお城が築かれました。その数は2,000以上と言われており、現在も県内には歴史的価値の高い城郭・城址が多数存在しています。8年前にお城巡りを始めて、お城が好きになり、8年間で全国にある日本百名城、続百名城の200名城を巡りました。最近、私が行った名古屋近郊のお城を紹介します。

<小牧山城>

織田信長が初めて築城したお城で有名な小牧山城。桶狭間の戦いで今川氏を破った信長が、次の攻略地点・美濃を攻める為に築城したお城で、清州から移動し、ここから美濃を攻略していきました。築城から4年後美濃を攻略し、その後本拠地を稲葉山城（現岐阜城）に移した為、築城からわずか4年で廃城となってしまいます。現在は模擬天守が建造されており、小牧市の歴史資料館になっています。



江戸時代に一般人の入山が禁止されていた為、大きく荒らされることなく良い状態で保存されて、土塁や堀、井戸や虎口などが残っています。ぜひ頂上を目指して登ってみてください。

<岩崎城>

室町時代末期に築城され、織田信長の父・信秀の支城であった岩崎城。小牧・長久手の合戦の岩崎城の戦いとなった地で、当時の城主・丹羽氏次はこの戦い以降、多くの功績をあげることになりましたが、長久手の戦いの後落城、関ヶ原の戦い以降は廃城となりました。



廃城後300年以上整備されていませんでしたが、明治43年に丹羽軍将兵を慰める記念碑、昭和62年に天守閣が創建され、岩崎城址公園として整備されています。天守閣脇に岩崎城歴史記念館があり、小牧・長久手の戦いの戦略図などがあり、興味深いスポットです。

また、城内には水琴窟があり、つりがね状の甕を伏せて地中に埋めたもので、そこに水が落ちると甕内で反響し音色を奏でるものです。岩崎城の水琴窟は2つの甕を伏せてあるので、他の所とは違い2種類の美しい音色が聞けますので、ぜひ聞いてみてください。



<足助城>

本来の名称は真弓山城ですが、足助町では足助城として売り出しています。足助氏の築いた城と考えられていましたが、発掘調査の結果、足助氏の時代の遺構が出てこなかったことから、戦国時代にこの周囲一帯を治めていた足助鈴木家のものだったと言われています。1590年、徳川家康の関東入国に従い、足助城は廃城となりました。



1989年愛知ふるさとづくり事業の一環で、国のふるさと創生基金をもとに復元された足助城には、派手な天守はありませんが長屋や物見櫓などが忠実に再現されています。麓から登ると約40分かかりますが、足助城の近くまで車で行けます。香嵐渓がすぐ近くにあるので、一緒に行ってもいいところですよ。



お城は歴史、お城好きにはたまらない観光スポットですが、ぜひ皆さんも訪ねてみてはどうでしょうか？

1月第2例会報告

1. 2月例会について

愛知県下に「まん延防止等重点措置」が発令された為、第1例会の中止を決定した。あわせて、第2例会は通常通り17日(木)名古屋YMCAにて行うことを確認。

3月からの例会の持ち方については、コロナの様子を見ながら2月第2例会にて協議することとした。

2. 『デイキャンプ交流会』について

コロナ禍で今日まで実施が出来なかった中部のYYYフォーラム・EMCシンポジウムについて今後の開催方法が部長を中心に協議されてきたが、『デイキャンプ交流会』として、以下の様に実施したい旨が太田中部EMC主査より報告された。

日時：2022年4月23日(土)

10:30~215:00頃

場所：戸田川緑地公園こどもキャンプ場

については、プログラム内容や役割分担等実行に向けて詰めていく実行委員会を組織したいので、クラブより実行委員を選出して欲しいとの要望が部長よりあり、山村君にお願いすることとなった。

3. 日和田募金や刈谷保育園開園等に東海クラブとしてどのように協力していくかについて意見交換をした。特別会計の資金を使用することになるので、使い方にはメリハリをつけて、慎重にという意見が多かった

【出席者】浅野、大島、太田、木村、柴田、谷口、中江、橋爪、長谷川、松本、八木、山田、山村、鷺尾、

今後の担当者は以下の通りです。宜しくお願いします。

【例会担当】3月：長谷川 4月：橋爪

5月：太田 6月：真鍋

【ブリテン寄稿】3月号：橋爪 4月号：長谷川

5月号：真鍋 6月号：山村